

中小学校だより

June 30th. 2017 No. 4

「この仲間がいてくれたから」…修学旅行の成功はここにある

席チャイムのキャンペーンで時間を常に意識していたこともあり、修学旅行ではほとんどの班がとても早く集まったり、班長中心で呼びかけたりしていました。学校でも、運営委員の人がたくさん呼びかけていました。修学旅行でも学校でやってきたキャンペーンが活かされていたんだと思います。班別研修の時には、私の班では優しく声をかけあったり、列が乱れていたに注意したり、バスの中でゴミが落ちていたら拾ったり、座席を直したりしていました。

2日目にはほとんど注意することもなく班行動ができていました。

この修学旅行を通して全ての班が「時間前行動」をして、誰一人いなくなったり遅れてきたりすることがありませんでした。事前キャンペーンでは全部の班が○になることは少なかったけれど、全員が本気でやろうと思えばできるんだなあと思いました。私の班は、奈良公園では早く集合場所について余裕で待っているくらいだったし、2日目の班別研修では清水寺をゆっくり見ても集合場所の仁王門に10分以上前につくことができました。それができたのは、班長が時計を見て動いてくれたのと班員一人一人が時間を意識していたからだと思います。

6月15日(木)・16日(金)に6年生が修学旅行にいきました。小さい学年の児童は「修学旅行に行けていいなあ。」と言っていますが、この日を迎えるに当たり、6年生は事前に様々な取り組みをしてきました。「班の仲間と協力しながら時間を意識して行動することができた」とどの子も振り返りに書いているのは、当日までの事前キャンペーンに取り組んできたおかげです。事前キャンペーンの当初から、全部の班が○になったわけではありません。しかし、帰りの会などで振り返って話し合いをもって、少しずつでも○になるように全員で意識してきたことが、修学旅行当日の達成感や充実感、そして仲間への感謝への気持ちにつながってきたのだと思います。インターネット等を駆使すれば、現地に行かなくてもあたかも出かけたような気持ちになることはできるでしょう。修学旅行では史跡や名所を自分の目でみて、肌で感じることで見聞を広げることができます。とても大切な学習です。しかし、それだけではありません。自分たちの願いに向かって、仲間と協力して何かを成し遂げること。そのために周到な準備や取り組みを重ねて、当日を迎えること……これは、これからの人生の中でとても役に立ちます。学校ではこうした「望ましい人間関係づくり」を大切に活動をしていきます。



オープンスクールに多数ご参加いただきありがとうございました。

6月3日(土)のオープンスクールでは、親子登校や「チャレンジ」の参観、そして岐阜地方気象台の方の出前講座、引き渡し下校と盛りだくさんの日程でしたが、多数の皆様方にご参加いただきました。出前講座では「金物を身につけていなければ雷は落ちないと思っていたが、間違ったことを子どもにも教えていた。」「子どもが天気に興味もつようになりました。とてもよい経験になりました。」「この辺りは用水路が多く、ゲリラ豪雨にでも見舞われた場合にはとても心配だと思っていました。積乱雲はいつどのようにできるのか、またどうすればよいのかを映像で分かりやすくまとめてあって、低学年でもよく理解できたようです。」「……などうれしい反響がたくさん寄せられました。子ども達にも、また大人にとっても、よい学びの機会となりました。

学校評議員の皆様からの訪問から

6月23日に学校評議員の皆様方が中小学校を訪問されて、それぞれの教室での授業の様子をご覧になりました。そして、参観された方々がみんな「中小学校の子ども達は、本当に落ち着いた学習ができますね。」「子ども達が明るく大きな声で挨拶ができますね。」と褒めていかれました。こうした方々は、様々な方面から学校を支えていただけます。本当にありがたいことです。ただ、下校後の自転車の乗り方については、気をつけてほしいと教えていただきました。今のところ、大きな事故は起こってはいませんが、油断は大敵です。学校でも、自転車の運転マナーについては指導をしていきます。ご家庭でも、お帰りチャイムまでには帰宅することと共に、自転車の乗り方について再度ご確認ください。